2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	作業療法士学科	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義実習
科目名	基礎キャリア教育Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(2)　時間(単位)
対象学年	1年	学期及び曜時限	後期	教室名	402号室、施設等
担当教員	石橋　康信	実務経験とその関連資格	教育修士(専門職) 星槎大学大学院教育実践研究科客員研究員		

《授業科目における学習内容》

本科目の講義や実習を通して、以下4点を図る。
①人間性を高め、人として自分を成長させる素地を養う。
②自己肯定感の高い、心身ともに健康な医療者(対人援助者)となる。
③主体性をもって行動できる、自律した医療者(対人援助者)となる。
④基本的な臨床技能としてのコミュニケーション力を身につけた医療者(対人援助者)となる。

《成績評価の方法と基準》

・レポート課題95%、平常点(準備・態度)5%で評定。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

・ PT・OTのためのコミュニケーション実践ガイド［第2版］(医学書院)

《授業外における学習方法》

・ 学外の施設や病院でボランティア体験を通して、対人関係技能を高めること、知識と実践のむすびつけをしていきます。

《履修に当たっての留意点》

基礎キャリアⅠでボランティア経験で学んだ知識と経験を基盤として、対人関係援助職に求められる実践的なコミュニケーションとは何かを学ぶ。そのために、ボランティア実践後の記録をとおしたリフレクション(内省)を実践していきましょう。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	①　コミュニケーションの基本的知識を習得することができる。 ②　対人関係援助職に求められるコミュニケーションとは何かを考え、理解することができる。	配布資料	【事前学習】ボランティア経験を内省する。 【事後学習】内省で得られた課題解決にむけて自己学習を実施する。(40分)
		各コマにおける授業予定	対人援助におけるコミュニケーションについて考える。 対人援助におけるコミュニケーションの役割について考える。		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	①　コミュニケーションの基本的知識を習得することができる。 ②　対人関係援助職に求められるコミュニケーションとは何かを考え、理解することができる。	配布資料	【事前学習】ボランティア経験を内省する。 【事後学習】内省で得られた課題解決にむけて自己学習を実施する。(40分)
		各コマにおける授業予定	対人援助職に求められるコミュニケーション技術の基本を学ぶ。		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	①　コミュニケーションの基本的知識を習得することができる。 ②　対人関係援助職に求められるコミュニケーションとは何かを考え、理解することができる。	配布資料	【事前学習】ボランティア経験を内省する。 【事後学習】内省で得られた課題解決にむけて自己学習を実施する。(40分)
		各コマにおける授業予定	「共感」を伝える技術や「受容(受け止める)」の大切さを理解する。		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	①　コミュニケーションの基本的知識を習得することができる。 ②　対人関係援助職に求められるコミュニケーションとは何かを考え、理解することができる。	配布資料	【事前学習】前回の授業の確認。(20分) 【事後学習】これまでの講義内容をまとめる。(40分)
		各コマにおける授業予定	「共感」を伝える技術や「受容(受け止める)」の大切さを理解する。		
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	③　ケア対象に応じたコミュニケーション技術を実習を通して理解し、実践できる力を身につけることができる。	配布資料	【事前学習】前回の授業の確認。(20分) 【事後学習】経験したことを記録し、他者との交流を振り返ることで、よりよい実践を考える。(40分)
		各コマにおける授業予定	様々な場面での人との交流を通して、自分の経験や他者との交流を振り返り、よりよい実践を考える。		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	③　ケア対象に応じたコミュニケーション技術を実習を通して理解し、実践できる力を身につけることができる。	配布資料	【事前学習】前回の経験や振り返りやフィードバック内容を再確認する。(20分) 【事後学習】経験したことを記録し、他者との交流を振り返ることで、よりよい実践を考える。(40分)
		各コマにおける授業予定	様々な場面での人との交流を通して、自分の経験や他者との交流を振り返り、よりよい実践を考える。		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	③　ケア対象に応じたコミュニケーション技術を実習を通して理解し、実践できる力を身につけることができる。	配布資料	【事前学習】前回の経験や振り返りやフィードバック内容を再確認する。(20分) 【事後学習】経験したことを記録し、他者との交流を振り返ることで、よりよい実践を考える。(40分)
		各コマにおける授業予定	様々な場面での人との交流を通して、自分の経験や他者との交流を振り返り、よりよい実践を考える。		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	③　ケア対象に応じたコミュニケーション技術を実習を通して理解し、実践できる力を身につけることができる。	配布資料	【事前学習】前回の経験や振り返りやフィードバック内容を再確認する。(20分) 【事後学習】経験したことを記録し、他者との交流を振り返ることで、よりよい実践を考える。(40分)
		各コマにおける授業予定	様々な場面での人との交流を通して、自分の経験や他者との交流を振り返り、よりよい実践を考える。		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	③　ケア対象に応じたコミュニケーション技術を実習を通して理解し、実践できる力を身につけることができる。	配布資料	【事前学習】前回の経験や振り返りやフィードバック内容を再確認する。(20分) 【事後学習】経験したことを記録し、他者との交流を振り返ることで、よりよい実践を考える。(40分)
		各コマにおける授業予定	様々な場面での人との交流を通して、自分の経験や他者との交流を振り返り、よりよい実践を考える。		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	③　ケア対象に応じたコミュニケーション技術を実習を通して理解し、実践できる力を身につけることができる。	配布資料	【事前学習】前回の経験や振り返りやフィードバック内容を再確認する。(20分) 【事後学習】経験したことを記録し、他者との交流を振り返ることで、よりよい実践を考える。(40分)
		各コマにおける授業予定	様々な場面での人との交流を通して、自分の経験や他者との交流を振り返り、よりよい実践を考える。		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	③　ケア対象に応じたコミュニケーション技術を実習を通して理解し、実践できる力を身につけることができる。	配布資料	【事前学習】前回の経験や振り返りやフィードバック内容を再確認する。(20分) 【事後学習】経験したことを記録し、他者との交流を振り返ることで、よりよい実践を考える。(40分)
		各コマにおける授業予定	様々な場面での人との交流を通して、自分の経験や他者との交流を振り返り、よりよい実践を考える。		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	③　ケア対象に応じたコミュニケーション技術を実習を通して理解し、実践できる力を身につけることができる。	配布資料	【事前学習】前回の経験や振り返りやフィードバック内容を再確認する。(20分) 【事後学習】経験したことを記録し、他者との交流を振り返ることで、よりよい実践を考える。(40分)
		各コマにおける授業予定	様々な場面での人との交流を通して、自分の経験や他者との交流を振り返り、よりよい実践を考える。		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	③　ケア対象に応じたコミュニケーション技術を実習を通して理解し、実践できる力を身につけることができる。	配布資料	【事前学習】前回の経験や振り返りやフィードバック内容を再確認する。(20分) 【事後学習】経験したことを記録し、他者との交流を振り返ることで、よりよい実践を考える。(40分)
		各コマにおける授業予定	様々な場面での人との交流を通して、自分の経験や他者との交流を振り返り、よりよい実践を考える。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	④　チーム医療や多職種連携のために必要なコミュニケーションについて理解することができる。	配布資料	【事前学習】これまでの経験を振り返り、他者に要点を伝えられるよう発表準備を行う。(60分)
		各コマにおける授業予定	円滑な連携、質の高いチームケア実践のために必要なコミュニケーションのあり方と、実践方法を考える。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	④　チーム医療や多職種連携のために必要なコミュニケーションについて理解することができる。	配布資料	【事後学習】自分の振り返りだけでなく、他者の経験や考えを共有することで、コミュニケーションの在り方についてまとめる。(60分)
		各コマにおける授業予定	まとめ		